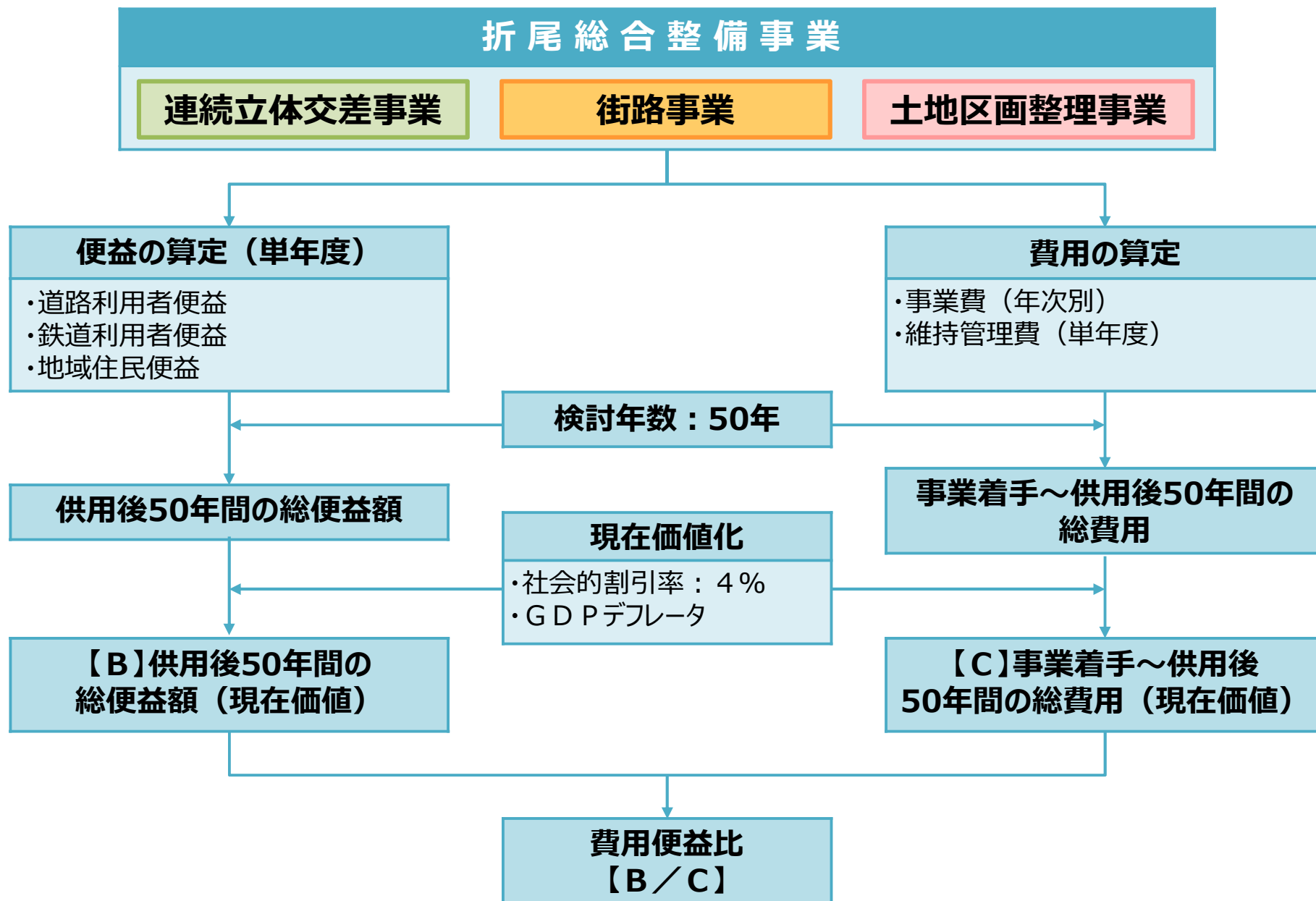


1. 費用便益分析の概要



2. 便益額の算定

便益の算定結果

事業区分	算出マニュアル等	計測対象便益		便益額（億円）	
				単純合計	現在価値
連続立体交差事業	「費用便益分析マニュアル」 ＜連続立体交差事業編＞ (H30年2月)	踏切待ち 解消便益	自動車	352.54 億円	151.47 億円
			歩行者	63.91 億円	27.47 億円
		踏切事故解消便益		1.24 億円	0.52 億円
	「連続立体交差事業の 整備効果にかかる参考資料集」 (平成26年3月)	歩行快適性の向上便益		418.63 億円	179.84 億円
		大気汚染物 質削減便益	CO ₂ 等	4.34 億円	1.85 億円
			アイドリング	0.79 億円	0.30 億円
		高架下用地利用便益		10.86 億円	4.18 億円
	「都市再生交通拠点整備事業に 関する費用便益分析マニュアル(案)」 (平成13年4月)	乗換え利便性便益		48.66 億円	18.58 億円
バリアフリー化の便益		11.23 億円	4.80 億円		
街路事業	「費用便益分析マニュアル」 (H30年2月)	走行時間短縮便益		1,125.66 億円	408.64 億円
		走行経費減少便益		47.43 億円	17.08 億円
		交通事故減少便益		1.22 億円	0.44 億円
	「都市再生交通拠点整備事業に 関する費用便益分析マニュアル(案)」 (平成13年4月)	自動車交通利便性向上便益		88.31 億円	33.73 億円
		滞留・交流機会増大・都市景観向上便益		11.23 億円	4.26 億円
土地区画 整理事業	「土地区画整理事業における 費用便益分析マニュアル(案)」 (平成21年7月)	地価便益		650.37 億円	231.10 億円
便益額合計【B】				2,836.42 億円	1,084.26 億円

3. 費用の算定

費用の算定結果

事業区分		費用（億円）	
		単純合計	現在価値
街路事業	事業費	173.10 億円	229.64 億円
	維持管理費	1.32 億円	0.44 億円
連続立体交差事業	事業費	419.20 億円	538.87 億円
区画整理事業	事業費	226.89 億円	254.81 億円
	維持管理費	1.57 億円	0.57 億円
費用合計【C】		822.08 億円	1,024.33 億円

4. 費用便益比

<費用便益比算定結果>

$$\begin{aligned} B/C &= (\text{B:プロジェクト便益の現在価値}) \\ &\quad \div (\text{C:プロジェクト費用の現在価値}) \\ &= 1,084.26\text{億円} \div 1,024.33\text{億円} \\ &\doteq \boxed{1.1} \end{aligned}$$